



SEIYU



CSR 報告書

—— 地域社会・地球環境貢献レポート ——

2013



e Synergy System の絶え間ない進化で、地域社会と地球環境に貢献する。

一動一進 一休一退



成友興業の社是は、“一動一進 一休一退”です。毎日少しずつでも考え、行動することにより、着実に成長することができますが、反対に、その歩みを止めてしまうと、成長が止まるのみならず後退することになってしまう、という考え方です。

変化の時代にあって、私どもは常に変化に対応し、成長を続けなければなりません。そして、常に成長を続けるためには、歩みを止めないための仕組みが必要です。

私どもが実践している、循環・共生・成長を続ける事業運営システム「e Synergy System」は、得意分野である建設事業と環境事業が相乗効果を発揮し、より高い付加価値を生み出し成長していくための仕組みです。この仕組みを通じて、地域社会と地球環境への貢献を続けることが私どもの使命であると考えています。

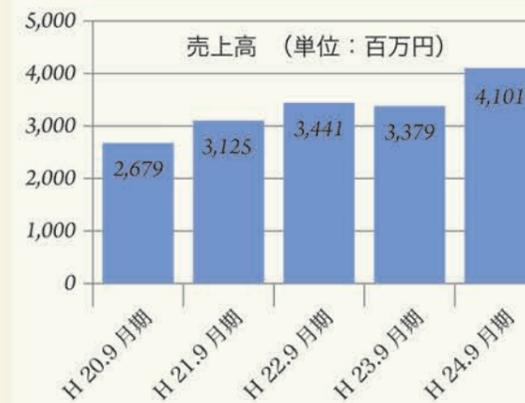
本報告書は、成友興業の環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なつながり、そして健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスなどの社内体制、その他企業活動について説明しています。ぜひ一読いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

代表取締役
細沼 順人

会社概要

商号 成友興業株式会社
設立 昭和50年3月12日
本社 東京都あきる野市草花 1141-1
資本金 2億7200万円
事業内容
舗装工事業、土木工事業
産業廃棄物処理業
汚染土壌処理業他
従業員 130名（グループ計300名）
グループ会社
成友セキュリティ株式会社
東京都福生市福生 699-3
事業所
東京支店 (東京都中央区)
多摩西事業所 (東京都あきる野市)
多摩北事業所 (東京都武蔵野市)
埼玉西事業所 (埼玉県所沢市)
あきる野事業所 (東京都あきる野市)
城南島事業所 (東京都大田区)
福生営業所 (東京都福生市)
東村山出張所 (東京都東村山市)
(平成24年9月30日現在)

財務内容（直近5期の売上高推移）



Contents

社是・トップメッセージ	1
会社概要	2
マネジメント体制 企業価値の向上のために	3
e Synergy System 環境に配慮した建設事業モデル	5
地球と、ともだちになろう。 環境のために	7
社会と、ともだちになろう。 社会のために	9
地域と、ともだちになろう。 地域のために	11
安全と、ともだちになろう。 安全のために	13
社員と、ともだちになろう。 社員のために	15
トピックス 表彰、被災地支援	17
有識者意見・編集後記	18



企業価値の向上のために



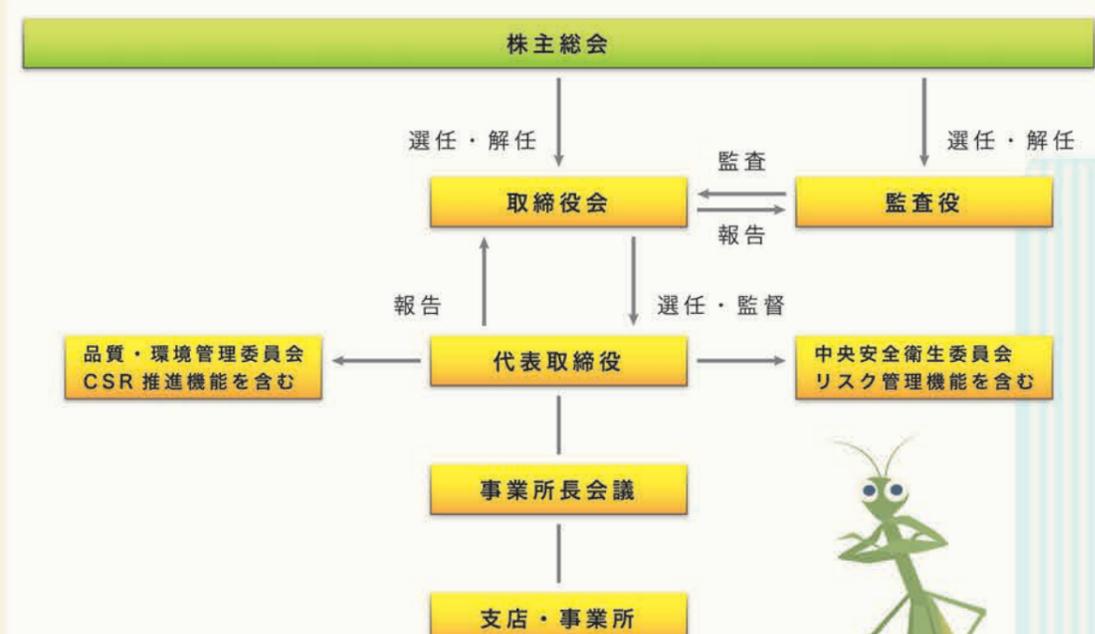
コーポレートガバナンス

成友興業は、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。健全な企業経営を行い、持続的な企業価値向上を図っていくために、実効性のある業務を遂行し、その監督体制を作り上げていきます。それとともに従業員ひとりひとりのコンプライアンス（法令遵守）意識の向上を図っています。

成友興業は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性と透明性（ディスクロージャー）を高め、全てのステークホルダーの皆様にご満足いただける魅力的な企業の実現を目指します。

ISOシステム認証

ISO（国際標準化機構）により制定された品質マネジメントシステム規格（平成 13 年 5 月認証取得）および環境マネジメントシステム規格（平成 21 年 2 月認証取得）に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。



内部統制組織図

コンプライアンス

「脱談合宣言」

平成 17 年 12 月の大手建設会社 5 社による脱談合宣言を皮切りに、建設業各団体では談合撲滅に向けた流れが強まっています。

成友興業は所属各団体の活動を通じて、脱談合を旗印に、公正な競争入札に取り組んでいます。

「反社会的勢力の排除」

平成 23 年 10 月に東京都の暴力団排除条例が施行されました。

当社代表は西多摩地区建設業会暴力団等排除協議会の会長を務めています。

成友興業としても反社会的勢力の追放を掲げて業務に取り組んでいます。

東京都で民間唯一の 汚染土壌処理業許可取得

土壌汚染が環境問題として認識されて以来、日本のみならず世界中で汚染土壌を適正に処理するために法律・条例等が制定され、規制が強化されています。

成友興業は、東京都で唯一、土壌汚染対策法に基づく汚染土壌の処理業許可を保有している民間企業です。城南島事業所において、汚染土壌の適正処理を通じて、土壌環境の改善に貢献しています。今後も環境配慮に対する高い意識を常に持ちつつ業務に励んでいきます。

建設部門の受賞

成友興業では、東京都内の道路工事を中心とした各種工事を受注しており、発注者である東京都から表彰を受けた施工事例も数例あります。施工品質はもちろんのこと、安全に配慮した施工管理体制が評価されたものと自負しています。



（発注者：東京都建設局）



（発注者：東京都建設局）

コンクリート用再生骨材Hの JIS認証所得

成友興業は、国内で初めて、再生骨材HのJIS規格を取得しました。城南島事業所で生産する再生骨材のうち、平成 23 年 9 月に再生粗骨材（5mm 以上 20mm 以下）が、平成 24 年 1 月には再生細骨材（5mm 以下）が日本品質保証機構（JQA）から JIS 認証（JIS A5021）を受けました。ともに全国初の認証取得であり、今後の再生骨材の利用促進に拍車がかかることが期待されます。再生骨材Hは、使用骨材の履歴が明らかなコンクリートがら・戻りコンクリートを破碎し、加熱すりもみ方式による高度処理を行うため、パーजन材と同じように普通コンクリートの材料として構造物にも使用することができます。

これからも製品の品質管理体制を強化して、顧客の需要に応えます。



汚染土壌処理業許可証



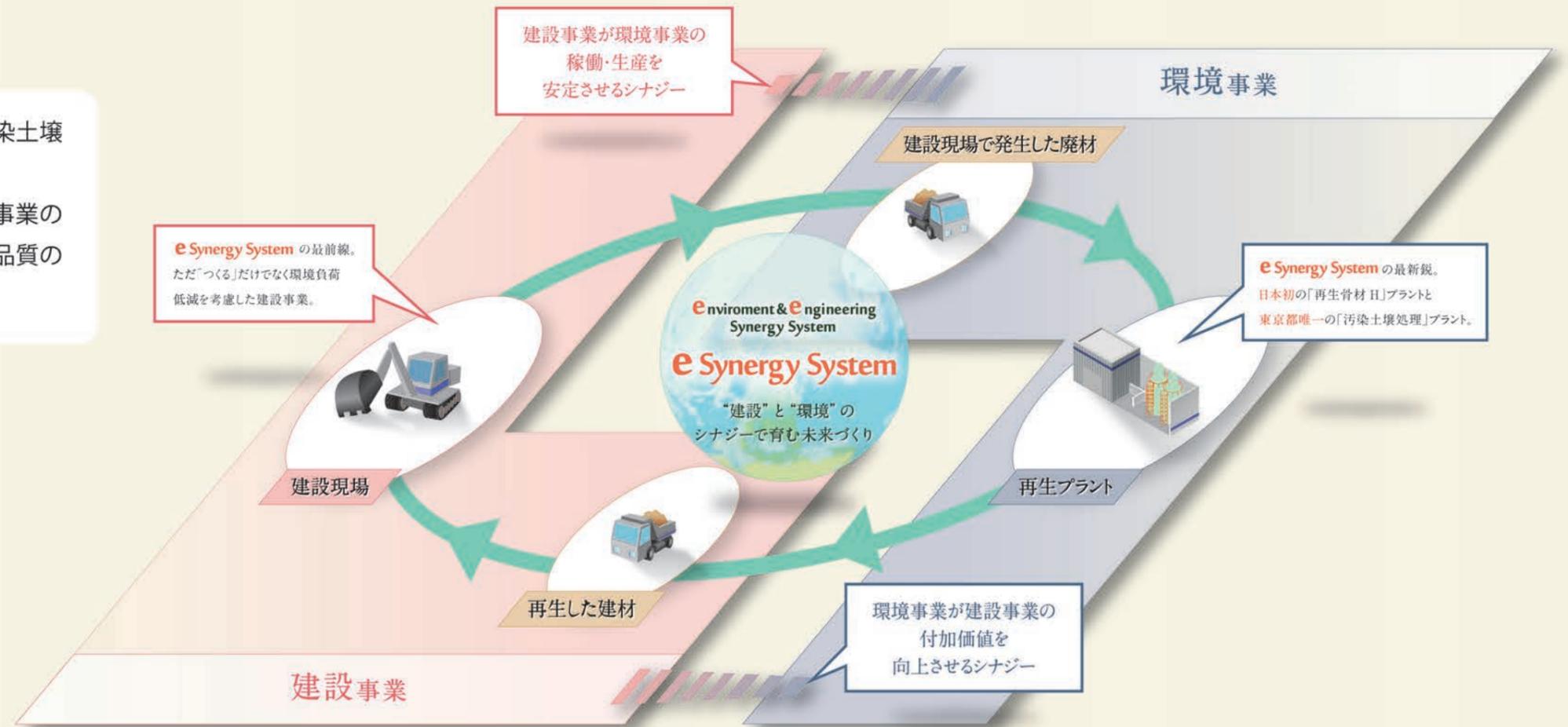
再生骨材 H の JIS 認証書



環境に配慮した建設事業モデル

建設現場で発生するコンクリートがら、汚泥、汚染土壌などを自社プラントで再生し、建設現場へと戻す。

この環境に配慮した仕組み **e Synergy System** を事業の中心に据え、真の道路メーカーを目指し、サービス品質の向上と環境への貢献に継続的に取り組んでいます。



品質環境方針

e Synergy System を絶えず進化させることにより、地域社会と地球環境に貢献する。

安全衛生方針

考えて、行動しよう。

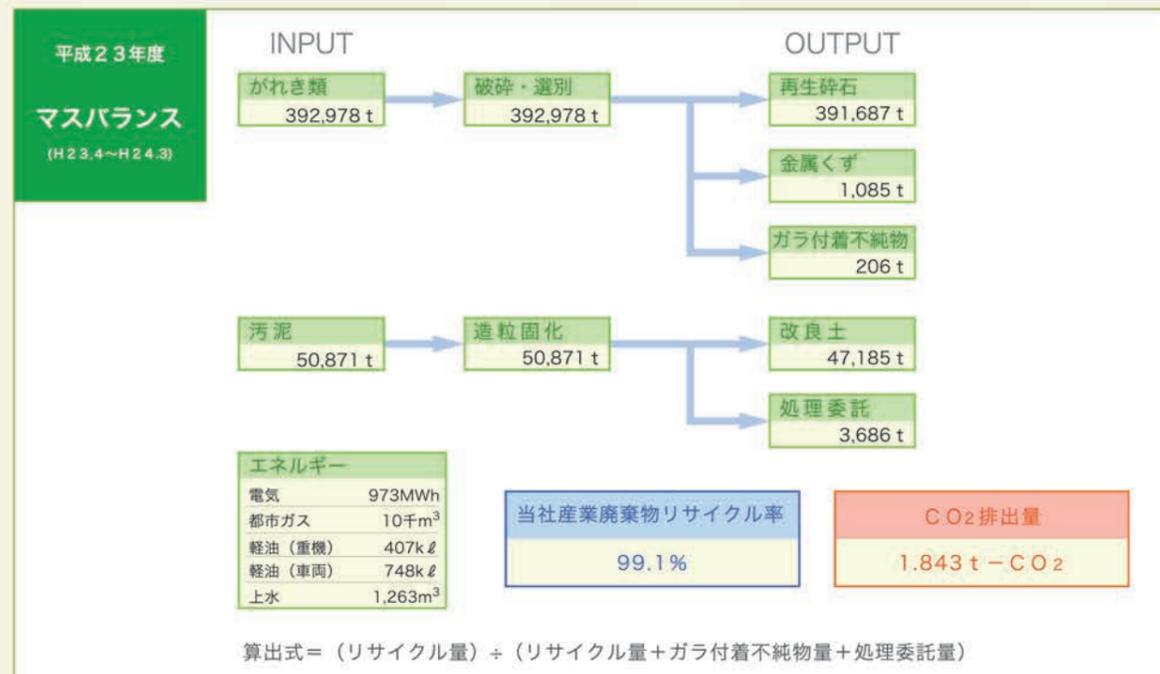


環境のために

■ マスバランス

マスバランスとは、事業活動に伴う物質収支を意味し、それを分析することにより、事業活動の環境負荷や課題を把握できます。

成友興業では汚染土壌や建設廃棄物をリサイクルしています。一方、事業活動に伴い電力や燃料を消費しており、それらの使用量削減に取り組む必要があります。



■ モーダルシフト

不溶化処理済土壌を中間処理施設に長距離運搬する際に、船舶も併用することにより運搬業務に伴って排出されるCO₂の削減に努めています。

■ ハイブリッド建機の導入

CO₂排出量の削減に少しでも貢献するべく、コマツのハイブリッドショベル HB205をいち早く導入。あきる野・城南島の両事業所にて稼働しています。また、城南島事業所では屋内作業に伴う排ガス対策として電気駆動式油圧ショベルも導入しています。



環境対策

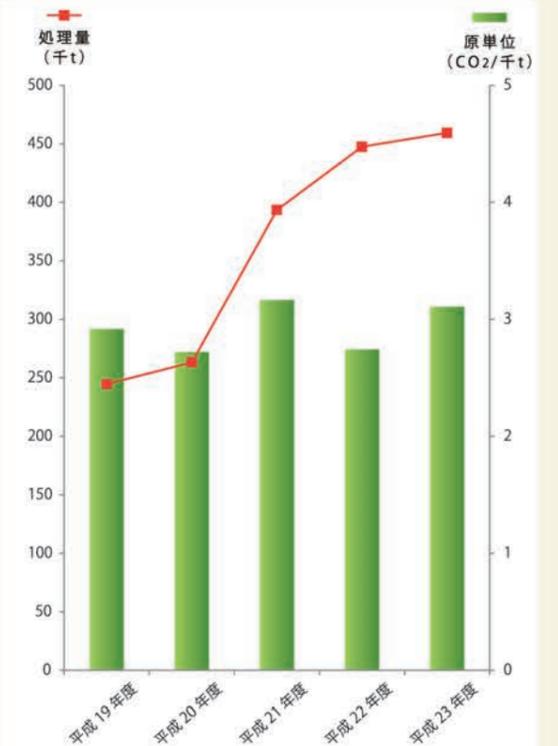
■ CO₂排出量(原単位)の推移

図は、直近5ヶ年度(4月~3月)における成友興業の事業所におけるCO₂排出量の算出値(t)と同期間のプラント処理量(千t)の推移を折れ線グラフで、処理量千tあたりのCO₂排出量(原単位:CO₂t/処理量千t)を棒グラフで表現したものです。

平成21年度は城南島事業所の稼働開始もあり、試運転などで原単位が上昇したものと推測されます。その後も原単位はいったん減少しながらも再上昇するなど安定していません。

今後の原単位削減に向けて、データを評価分析しつつ活動して参ります。

直近5ヶ年度CO₂排出量(原単位)



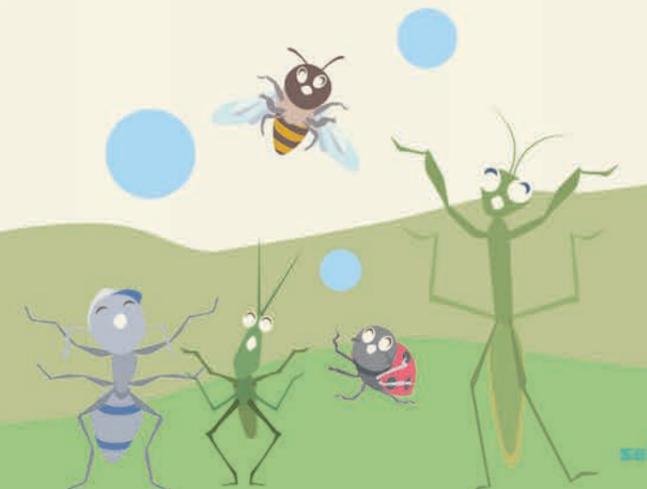
■ 事業所における環境モニタリング

あきる野・城南島の両事業所では、自治体との環境協定に基づく測定項目に、自主的に設定した項目を加えて、定期的な環境モニタリングを実施しています。具体的な測定項目は表のとおりです。

分野	項目	あきる野事業所	城南島事業所
大気	特定粉じん(アスベスト)	実施なし	年4回
	浮遊粉じん	2年に1回	実施なし
	シアンを除く重金属類	実施なし	年4回
水質	BOD, COD, SS	実施なし	年4回
	シアンを除く重金属類	実施なし	年4回
騒音・振動		都度	都度
放射線量	(μSv/h)	毎月	毎日
製品中有害物質	六価クロム溶出量	毎月	毎月
	他物質に関しては受入時データに基づき分析を実施		

■ 建設事業における取り組み

建設事業では、現場から発生するごみの削減に取り組んでいます。資材の過剰包装の排除、適切な数量管理、木材等の再使用などの積み重ねで前年度比半減を達成しました。引き続きごみの削減に取り組むとともに、今後も環境のことを常に念頭に置いて業務を推進していこうと考えています。



社会のために

施設見学受入

城南島事業所では東京都が主催するスーパーエコタウン見学会にて多くのお客さまを受け入れるのに加え、国内外から多くの見学希望が寄せられます。

成友興業ではその希望に可能な限りお応えし、1年間で200名以上の見学者が来所されます。皆様にリサイクル事業への理解を深めていただく一助としていただいております。



産業廃棄物処理事業者情報の公開

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団が運営する「産廃情報ネット」にて、産業廃棄物処理業者としての成友興業の情報を公開しています。

また、環境省が推進している優良産廃処理業者認定制度にて成友興業が優良事業者認定され、同省が運営する「優良さんばいナビ」に掲載されています。



学生インターンシップ

近隣の大学や工業高校から職業体験として学生たちを受け入れています。今後も積極的に受け入れたいと考えています。

使用済み切手その他の回収

成友興業は、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会の団体会員となっており、業務で受け取る郵便物に使用された切手を回収して提供しています。あきる野市社会福祉協議会では、収集した使用済み切手をボランティアの手によって剥がして整理し、収集家向けに売却して福祉活動資金の一部としています。

その他、ベルマーク、ペットボトルのキャップなどの収集も行っています。



column 東京スーパーエコタウンのGHG（温室効果ガス）削減効果はCO₂で年間12万t相当

平成22年7月、成友興業も加入している東京スーパーエコタウン協議会は、東京スーパーエコタウン主要施設全体の温室効果ガス削減効果の試算を行いました。

東京スーパーエコタウンは先端技術を持つ再資源化事業所が集中して操業しており、相互補完による資源循環、リサイクル率向上による天然資源の保全などについて試算し、評価したものです。

方法としては、各社がスーパーエコタウンに集約して事業を行っている現況と、従前通りに分散して行っていたと想定した場合とのGHGの排出量差の評価を行い、結果として、年間12万t相当のCO₂削減量と試算されました。

地域のために

清掃活動

近隣の皆様と良好な関係を築く活動の一環として日頃から、本社、事業所、各工事現場の周辺で、状況によってはスイーパー車も用いての清掃活動を行っています。

また、城南島事業所では近くの城南島海浜公園にてビーチクリーンアップ活動に参加しています。



地元行事への積極的な参加

JR 五日市線秋川駅前通りで行われる恒例のあきる野夏祭りにおいて神輿に参加し、また西多摩建設業協同組合が出店した模擬店に協力しています。

また、4日間かけて盛大に行われる福生七夕祭りにも協賛しています。



環境保全協定

あきる野事業所、城南島事業所とも地元自治体（あきる野市及び大田区）と、それぞれ環境保全に関する協定書を交わしています。これらの協定に基づいて日常の公害防止に努めるとともに、定期的な環境モニタリングを実施しています。

防火水槽設置（城南島事業所）

要望を受けて、城南島事業所内に消防水利施設として防火水槽を設置しました。それに対して大森消防署より感謝状の贈呈を受けました。

防災訓練

ISO の環境マネジメントシステムに規定されている「緊急事態への対応」を兼ねて、消火訓練などの防災訓練を実施しています。



災害対策協定

成友興業では各地方自治体と災害対策協定を締結しています。内容は防災だけではなく、積雪時の除雪作業など災害発生時の協力も含まれています。

また、同様の協定を国土交通省関東地方整備局の国道事務所とも取り交わしています。

緑化活動など

社屋周辺の花壇を整備するなど緑化に努めています。また、夏季には冷房効率を上げることを目的として壁沿いにゴーヤを栽培し、緑のカーテンを作りました。



安全のために

安全への取り組み

成友興業は、全事業を通じて働くすべての社員が「人命尊重」を基本理念として、災害・事故ゼロを目指すとともに社員ひとりひとりがいきいきと健康的に働ける職場の形成に努めています。

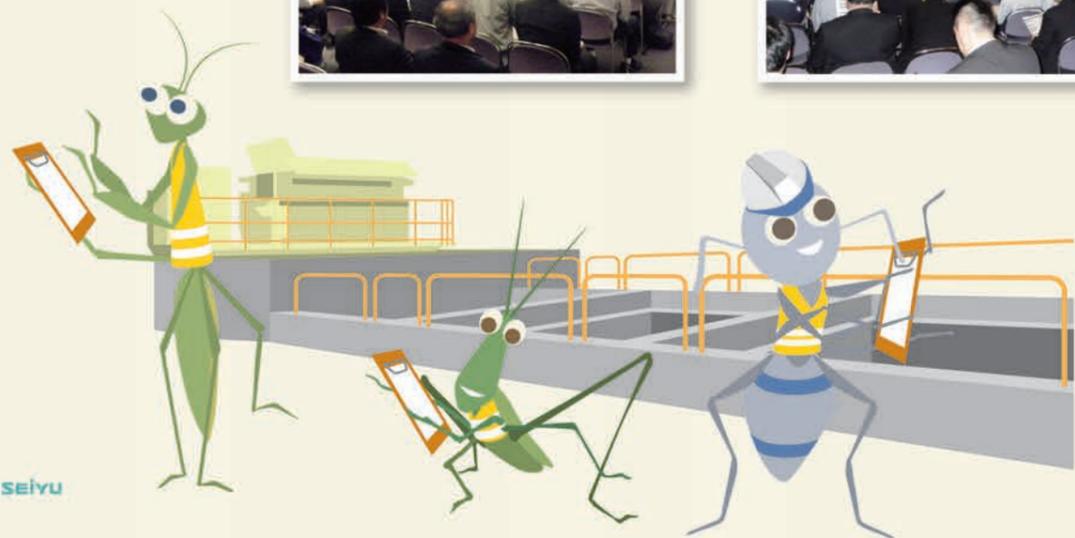
安全パトロール

現場の安全パトロールを成友興業株式会社安全衛生協力会とともに月1~2回実施しています。社長をはじめとする役員によるパトロールも年3回行っており、安全意識を高めるのに役立っています。



安全推進大会など

年に一度の安全推進大会を中心とした安全衛生協議会などのミーティングを各事業所にて定期的に行っています。直近の安全推進大会は、平成24年6月に、あきる野ルピアにて開催されました。社員、協力会社出席のもと、委員長訓話、安全表彰、安全宣言などを行い、東京海上日動リスクコンサルティング株式会社主席研究員による安全講話「ヒヤリハット映像から学ぶ事故防止」を聴講しました。



ドライブレコーダーによる運行管理

安全の向上を図ることを目的として、各ダンプトラックにドライブレコーダーを設置して運転状況の記録を残しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用しています。



危険予知活動

労働災害ゼロを目指して、従事者全員でのKY(危険予知)のみでなく作業前の一人KYを励行しています。

同様に危険予知能力を必要とするISOの環境マネジメントシステム規格で定められた「緊急事態への準備及び対応」に応じた、緊急事態避難対応訓練を実施しました。

ヒヤリハット報告会

毎月の安全衛生協議会で、日常業務で経験したヒヤリハットの報告を行っています。このような地道な努力の積み重ねで、災害ゼロに向けて活動しています。

施設や機械の定期点検

事業所のプラント内各施設および業務で使用する重機類などは、作業員の安全を考慮して定期的に点検しています。

成友セキュリティ

工事現場周辺の交通整理や、雑踏警備などで豊富な実績を有する成友セキュリティ株式会社がグループ会社としてあります。このことにより、工事現場での警備員との意思疎通がスムーズになり、安全意識がより高まるなど、社内の安全意識の向上にも役立っています。



社員のために



社員研修

建設事業と環境事業という2つの事業軸を持つ成友興業の社員研修は、職種により違いがあります。建設事業では、建設業法等の規制、環境事業で扱う汚染土壌や産業廃棄物は、土壌汚染対策法、廃棄物処理法の規制を受けており、各業務を行うにあたり専門的な知識が必要です。当社では、社員の所属や職位などに応じた教育を行い、社員の知識や技術のレベル向上を継続的に図ることで法令の遵守や事故の防止に努めています。

新入社員教育

入社後、社内（OJT）と社外（Off-JT）合わせて6ヶ月間の研修を行っています。平成24年4月に入社した技術系社員（土木施工管理）は社内644時間、社外358時間の研修を行いました。社内では、先輩社員によるマンツーマンでの指導、社外では、土木基礎を専門の教育訓練機関で2ヶ月間行いました。



社員の知識・技術レベルの向上

資格取得の奨励

成友興業では業務に必要な資格の取得を奨励しています。資格取得のためには、社内研修を実施し、必要に応じ外部研修も受講出来るようにしています。

環境啓発教育

東京都環境局主催の産業廃棄物適正処理説明会やアスベスト適正処理の講習会等を受講しています。

各種講習会への参加

東京建設業協会をはじめとする各種加入団体や東京都その他が主催する講習会等に積極的に参加できるように努めています。

保有資格



社員の保有資格一覧（平成24年9月30日現在）

資格名	人数	資格名	人数
1・2級土木施工管理技士	24	東京都1種公害防止管理者	1
1級造園施工管理技士	2	技術士（資源工学部門）	1
1・2級舗装施工管理技士	11	技術士（水道部門）	1
廃棄物処理技術管理者（中間）	5	環境計量士（濃度）	2
廃棄物処理技術管理者（破砕）	4	環境計量士（騒音・振動）	2
大気関係第1種公害防止管理者	1	エネルギー管理士	1
水質関係第1種公害防止管理者	1	エネルギー管理員講習修了者	2
騒音関係公害防止管理者	1	第1種衛生管理者	2
振動関係公害防止管理者	1	危険物甲種	1
ダイオキシン類関係公害防止管理者	1	品質管理責任者	3

社員旅行・ゴルフ部会

年に1回、全社で社員旅行を実施しています。平成24年7月には、震災復興支援を兼ねて観光やゴルフで福島県を訪ねました。

また、毎年一回行われる創立記念ゴルフコンペを中心として、時折コンペが催され、社員間の親睦を図っています。



社員表彰

永年勤続表彰および業績表彰、安全表彰の各制度を設けています。



表彰

◆ 平成 23 年 12 月、多摩信用金庫が主催する多摩ブルー賞（技術・製品部門）において、成友興業が優秀賞を受賞しました。これは、多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興への寄与を目的として、優れた技術や製品による地域経済への貢献が認められた事業に対して授与するものです。

◆ 平成 24 年 6 月、全国中小建設業協会から、建設業を通じて地域の雇用を守り地域社会に貢献してきた功績により、当社代表が建設業振興功労者表彰を受けました。

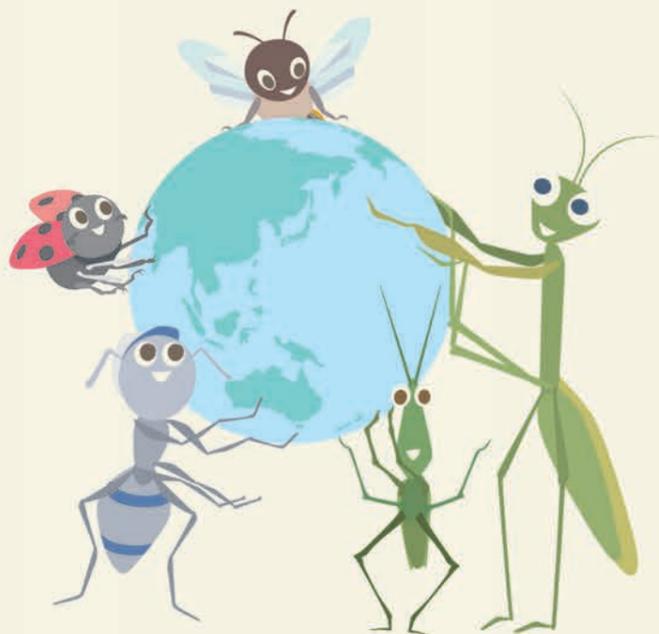
◆ 同じく平成 24 年 6 月には、全国産業廃棄物連合会より、当社代表が地方功労者表彰を受けました。

被災地支援

甚大な被害をもたらした平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災からはや 2 年が経過しました。成友興業では、社員の出身地である被災地の 3 自治体に義援金をお届けしました。また、加盟団体の視察団の一員として、当社代表と他 1 名が被災地を訪ねました。

現地で復興がまだまだ進まない現状を目の当たりにしたこともあって、平成 24 年の社員旅行の目的地として、少しでも復興の助けになればという思いを込めて、地震・津波の被害に加えて原発事故に伴う風評被害を受けている福島県を選定しました。

今後も震災の記憶を風化させることなく、被災地のためにできることを常に考えながら、業務に邁進していきます。



有識者意見

企業が環境に配慮した経営を行うということは、今では常識のようになってきました。しかし、現実には企業活動において、環境負荷が発生することは避けられません。何を、どこまで行えばよいのか、それを判断する基礎となるのが環境方針であり、達成の目安が環境目標です。そして具体的な達成への道筋は実施計画と手順書によって管理されます。さらに、C S R 報告書は、企業の環境配慮経営等の現状を率直に示し、社会とのコミュニケーションを行うために作成されるものです。

成友興業の C S R 報告書を手にとったら、まずマスマバランスを見ることをお勧めします。このマスマバランスは、産業廃棄物としての受入量、リサイクル量と、この処理に必要なエネルギーと資源を表示したものだと思います。廃棄物は、排出者によって m³ やトンなどの単位を用いるので、これを換算評価することは大変です。また、C O₂ の排出量についても、把握することは困難です。しかし、このような作業を地道に続けて、環境負荷を正確に把握する努力を継続することが、まさしく環境経営の基礎になると思います。石ころ一つも大切に環境管

理の対象とする、その積み重ねが現在の成友興業の原点であり、さらに将来の発展につながるものでしょう。今後は建設事業のマスマバランスの数値把握をして、さらに目標の達成状況も公表できれば、より充実した報告書になると思います。

環境経営では、数値は大切ですが、精神はもっと大切です。この報告書では、社長の社是と目次に、その精神が示されていると思います。無理をせず、着実に、環境・社会・地域・安全・社員と、ともだちになることが、会社としての柱になっていることとでしょう。この精神が、毎年どのように表現されていくのか、楽しみにしています。

佐藤泉法律事務所
弁護士 佐藤 泉氏



編集後記

今回、創刊号として発行された成友興業株式会社の C S R 報告書 2013 はいかがでしたでしょうか？編集にあたってはできるだけ分かりやすく平易な表現を心がけました。「成友興業ってこんな会社なのか」と思っていた内容になっていましたでしょうか？成友興業の C S R への取り組みやその結果に対するステークホルダーの皆様のご期待に応えられるように、私たちも改善や向上への更なる努力が必要だと考えています。C S R への取り組み状況を継続して公表していく緊張感を持ち続けることにより、皆様のご期待に沿えるよう、これからも真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

ぜひとも、巻末に添付しましたアンケートにご回答いただき、本報告書を読まれたご感想やお気づきの点など忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

最後になりましたが、有識者意見をお寄せいただいた佐藤泉弁護士に感謝するとともに、不慣れな私どもに協力して、データや貴重なお話をご提供いただいた関係各方面の皆様にお礼を申し上げます。

対象期間 平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日（一部期間外の情報を含む）

発行日 平成 25 年 5 月 1 日

作成部署 C S R 報告書 2013 作成委員会

連絡先 管理本部 TEL 042-558-4111 FAX 042-558-4166

E-mail info@sei-yukogyo.co.jp





CSR報告書2013をお読みいただきありがとうございます。

皆様からのご意見を今後の報告書の改善に役立てていきたいと思ひます。

Q1. 本報告書を読まれたの感想をお聞かせ下さい。

[報告書の構成]

- 1) 分りやすさ 分りやすい 普通 分りにくい
2) ページ数・情報量 多すぎる 普通 少なすぎる

報告書の記事の中で不足していると思われる点がありましたらご記入ください。

(_____)

[取組内容]

- 3) e Synergy System 評価できる 普通 評価できない
 について
4) 環境のために 評価できる 普通 評価できない
5) 地域社会のために 評価できる 普通 評価できない

特に評価できる(もしくは評価できない)ところはどこでしたか?

(_____)

Q2. 本報告書のことをどちらで知りましたか?

- 当社ホームページで インターネット検索で 当社営業マンより
 マスメディア(_____) その他(_____)

Q3. ご意見・ご感想などご自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いします。

ご住所 〒 _____

ご氏名 _____